

## 集 下山川清掃

「葉山メダカの会」と木古庭・上山口・下山口の3町内会の町民99名が参加。こんなにたくさんのゴミが回収されました。(10/17)



## 伝 葉山まちづくり展

今年で10回目を迎えた葉山まちづくり展は、南郷中学校の生徒やたくさんの方が訪れました。(9/30～10/3)



## 貝 海辺の宝物をみつけよう

「自然が処理できない物は、人の手で取り除く」美しく安全な海岸を守り続けるために大切なことなのです。(10/3)



## 祭 葉山ふるさとひろば

町民に愛されている毎年恒例のイベント！葉山御前太鼓や町内中学校吹奏楽部による演奏が観客を魅了しました。(10/10)



## 閑 ちざんそう 茅山荘ツアー

下山口から里山を巡るツアー。茅山荘の観音堂で座禅体験が行われ、下山川の流れる静けさを全身で堪能。(9/25)



# 仲間の輪

—— 広がる仲間の輪！——  
葉山のことを知れば  
知るほど好きになる！

2010年11月30日発行 第二号  
NPO法人葉山まちづくり協会  
240-0112 三浦郡葉山町堀内1874  
町立図書館2階  
TEL & FAX 046-876-0421  
e-mail office@hayama-npo.or.jp  
HP <http://www.hayama-npo.or.jp>

## New! 景観まちづくり研究会・葉山

色々なテーマのまち歩きを通して、新たな視点で「葉山らしさ」をみつけます。葉山を知るとまち歩きがもっと楽しくなります。まち歩きで発見したことをもとに、地域の人たちや行政と連携して葉山のまちづくりを考え、提案していきます。まずは、まち歩きからスタート。

## New! 歌と大正琴の花園

初めてでもやさしく、生涯の生きがいとなる大正琴。高齢になっても友人が増え若返りなど、時間が活かせます。歌や大正琴の演奏を通じてお年寄りに楽しい時間を過ごしていただけるよう、市町内の施設での演奏慰問なども行っています。

## New! トランジション葉山

地域の持続可能な循環型のまちづくりを目指し、定期的に一色会館やカフェなどでイベントを開催しています。その他、地域通貨、地産地消などのテーマ別のグループがあり、各グループが互いに連携しながら自分たちが暮らしたい未来を実現するための活動が特色。

## New! ゼロ・ウェイストを考え・進める会

ゼロ・ウェイスト社会(無駄・浪費のない社会)を実現するためのPR活動や、「バクテリア de キエーロ」の普及活動を通して生ゴミ自家処理の推進、衣料品・小物の再利用を促す無料掘り出し市などを開催しています。豊かな自然環境と共生できる地域を築くことが目標です。

## 祝 新桜山トンネル開通式

開通式の後、南郷中学校吹奏楽部のマーチにのって多くの人々が通り初めを行ないました。(9/23)



## 動 子どもの外遊び教室

一色小学校の体育館で、大人19名、子ども31名が参加し、なわとびなど共に楽しめるスポーツの体験が行なわれました。(10/16)



## 買 ビッグハマママーケット

森戸神社の境内に葉山らしさをテーマにした町の人気グルメや商品が大集合！今年もにぎわいました。(10/31)



## 彩 南郷花ひろばコスモス刈り取り

「花と緑のまちづくりを進める会」のメンバーによりコスモスが刈り取られ、道行く人や町の高齢者施設に贈られました。(10/23)



## 汗 集まれ、ホテルのサポーター！

上山口の谷戸で、ヘイケホテルなどの水生生物が生息できる環境を取り戻すための活動が行なわれました。(10/23)



〈写真はホームページ「こんにちは葉山」より〉

# 年末年始どこ行く、何する。

### 山歩きを楽しむ

身近な山で紅葉狩り

〈日時〉12月4日(土)

〈集合〉9時10分長柄交差点バス停

〈対象〉小学生以上 健脚の人

〈コース〉長柄(南郷公園)鷹取(東逗子駅) 15時解散

〈参加費〉300円(保険・資料代)

〈申込み〉(875) 8440

葉山・山楽会 板垣

### 文化財を見て学ぶ

鎌倉国宝館は本館も文化財！

〈日時〉2月9日(木)

〈集合〉9時半 JR逗子駅

〈参加費〉500円(保険料込み)

〈申込み〉(875) 6780

葉山町文化財研究会 市原

※締切り2月4日

### 親子でハイキング

ハイキングで葉山の自然を体感しよう

①大楠山ハイキング「三浦半島最高峰」

〈日時〉12月23日(祝) 10時～15時

〈集合〉前田橋バス停

〈解散〉大楠山名口バス停

②南郷上ノ山「野鳥の森を歩こう」

〈日時〉1月9日(日) 10時～12時

〈集合・解散〉南郷上ノ山公園 管理事務所

③春を探そう！お花見をしよう！

〈日時〉3月26日(日) 10時～12時

〈集合〉葉山町消防署前

〈解散〉葉山町図書館前

☆各コースとも 5組10人程度

〈対象〉小学生以上の子どもと保護者

海と自然に興味のある大人

〈参加費〉ファミリー1組 1500円

〈問合せ〉(876) 2287

オーシャンファミリー 海洋自然体験センター

### 《編集部より》

協会HPの「フォト広場」の「まちづくり展」イベントでは展示場所等でご迷惑をおかけいたしました。なお、「フォト広場」では引き続き投稿作品を募集しています。



## 初詣

除夜の鐘が鳴る頃、お参りするといいこといろいろある神社

- ・木古庭神明社 お神酒と甘酒、子供には米麴の甘酒
- ・下山口神明社 干支の御守り、甘酒、お菓子
- ・熊野神社(真名瀬) 甘酒と豚汁
- ・森山神社(一色) 甘酒、みかん、祝箸、御福銭
- ・御霊神社(長柄) 温かい飲み物とみかん
- ・本立寺(長柄) 温かい飲み物

## どんど焼き

- ・長者ヶ崎海岸 1/8(土)
- ・諏訪町下海岸 1/9(日)
- ・一色海岸 1/9(日)
- ・森戸神社(左義長神事) 1/14(金) 御福銭あり
- ・真名瀬海岸 1/14(金)
- ・本圓寺前木古庭公園 1/16(日)

## 除夜の鐘

- ・新善光寺(上山口) 23時30分 温かい飲み物、みかん、御守り
- ・光徳寺(堀内) 23時45分
- ・福厳寺(長柄) 23時40分

## 餅つき

- ・牛ヶ谷戸町内会 12/5(日) 10時 アリレイナとなり矢嶋宅前(会費:小学生以上ひとり¥200)
- ・向原町内会 12/14(火) 10時半 サッポロビール葉山寮
- ・木の下町内会 1/9(日) 10時 木の下会館

## 新春祈願祭

- ・森戸神社 「歳旦祭」 元旦 9時
- ・御霊神社「御奉射祭(弓射式)」 1/7(金) 11時。4月に入学予定の男児が弓を射ます。〈問合せ〉(875) 2310 荒井



## 真名瀬の祝い船 ― かつての海のしきたりを懐かしむ

真名瀬の漁師、矢島三男さんは昭和43年に旗を飾れるような大きな船を造ることになりました。お父さんがやっていたかき氷屋さんの名「金店」からきている「きみせ」という屋号を船の名前にしました。船が出来たお祝いに、「かた

ふね（親しい仲間を意味）「や親戚、そして造船所から「大漁旗」が贈られました。昭和43年の相場で大



ほかに鶴亀などめでたい意匠もあり

漁旗一枚は一万五千〜二万円、大きいものはそれ以上の値段でした。「旗をたくさん贈られるのは、それだけ人気があるから」とちよつと得意げな矢島さん。その船で19年間仕事を続けられました。

実際に旗を見せていただくと、小さい旗で108×173センチ、大きい旗は135×205センチと予想以上の大きさ。沖合い遠くからでも目立つように派手な色使いです。船が出来あがると「おかげさまで出来ましたよ」と皆さんに見せるため、名島で三回巡航しご披露したものだそう

す。

昔、大漁の時「大漁旗」を揚げて船が港に帰ってくるのは、捕獲して満載しきれなくなった魚類を、他の船に転載してもらう合図だったそうです。

旗は言うならば手旗信号でもありました。今と違い電話も無線もない時代です。旗の揚げかたひとつで、エンジンが故障した、けが人が出た、大漁だ、などを周りを走っている船に知らせる役目もしたのです。

今は木造船からプラスチックの船とな

## 万葉植物の草木染めに挑戦

「森戸川村」は森戸川を中心に二子山系のすばらしい自然環境を保護するため、川の掃除や倒木の再利用を始め巣箱



心やすまる色合いに

の設置、林道の整備などの活動をしている団体です。10月10日（日）万葉植物で草木染めを楽しむイベントが開かれ



昭和60年ごろのきみせ丸

り、無線は義務付けられていますし、もちろん携帯も持っています。昔のルール、しきたりはすっかり見られなくなりまし

何よりの変化は魚の量が減ってしまい、年末年始以外に大漁旗を揚げるこ

◇

葉山まちづくり館ギャラリーで矢島三男さんの「大漁旗」を展示します。12月21日（火）〜1月30日（日）

## 《葉山まちづくり展イベント》

ました。会場は大山林道ゲート脇の森戸川村広場で、20組余りの参加者には親子連れの方も多く、にぎやかに行なわれま

はじめに村長・清水さんから万葉植物の解説を聞きながら林道を散策しました。森戸川水系に万葉植物は約120種あるとか。ハゼ、ナシ、カエデ、ワタ：道治いに見つかります。「ハギやウメの歌はたくさんあるけどカキの歌は詠まれていません」「秋の七草でこの辺に残っているのはクズとオバナ（ススキ）だけ」

森戸川沿いの狭い道にはケヤキ、シバ。

「アケビはサノカタとも呼ばれ、恋の歌がありますよ」川の中にアシ。カクレミノは神社のお供え物をのせる葉。「アカメガシワも葉が器として使われ、ヒサギとも言われ、食用にもなり染料にも使われます」

染色の先生、葉山在住の矢谷佐知子さんは身近にある草木から繊維をとり、野山の植物や、海ではヒジキの蒸し汁など自然の材料で、染め、織りをしています。「自然を大切にしたいので貴重な植物は使いません。採ってもすぐに伸びる生命力のある草木を使います。自然のもので自然に帰せるものばかり」

この日は万葉植物のひとつ、ヒノキの皮で綿ガーゼやシルクの布を染めました。草木染の基本は植物を煮出した液で染めて、鉋物性のバイセン液で色を引き出し定着させること。グレー、ピンク、グレーがかったピンクと、バイセン液によって微妙に違うやさしい色ができました。

布に模様をつけた人は輪ゴムで布をくくったり、丸めたりしたので、輪ゴムをはずし広げるとおもしろい模様があらわれました。しま、丸い輪、四角、花のような模様。

「身近な草木で家でも染めができそう」「葉山の海も好き。これからは森も川も大切に楽しみたい」楽しげな声が森の中に響きました。

## 堀内のちよつといい道を歩く

堀内のちよつといい道を歩きました。スタートは、まちづくり館のある町立図書館。

葉山は川沿い、山沿い、海沿いに細い道がつながっています。広い道はあとからつくられた道で、車のすれちがえないような道が古くからの道。

国道134号線ができるまで、図書館や



細い道を行くと  
なぜか新しい発見がある。

ジョナサン、手前のクスの木あたりに別荘があったとか。信号を渡ると、あけの星幼稚園。その脇道を行くと、かながわ建築100選に入っている、旧東伏見宮別邸（通称カサブランカ）である美しい洋館を見ることが出来ます。

## 《葉山の道② 堀内》

葉山小に向かう旧道に入ると、生垣、石垣、旧足立邸の洋館も残っています。

すぐに子守地蔵。二百余年放置されていたのを里人が掘り起こし、別地にまつり、現在地に堂を建てて移しました。「地蔵尊ニュース」が置かれていて、記事がおもしろい。

信号を渡り急坂を登ると、光徳寺飛び地。鐘楼に古い鐘が置かれ、ここから山なみ、家なみ、海が見わたせて、意外や逗子の花火の見物スポットだそうです。山沿いに歩くと「すだい田」。葉山小の米作りの田んぼや畑があり、よく手入れされている里山の美しさに、ほっと心が和みます。

木々の繁った暗い所を抜けると小さな橋。住宅地を通りテニスコートに。赤い幟を目印に平松地蔵へ。一色平松にあった松が枯れ、その根でつくられた二体のうち一休とか。地蔵堂も趣があり、ちよつとひと休み。

狭い道を抜けて、かながわ花の名所の

## 子どもを育てる武道 ― 少林寺「自他共楽」のこころ

葉山に少林寺拳法の稽古にはげむ子どもたちがいます。

週に3回夕方の体育館で、小学校低学年から大人までの男女が揃いの道着にそれぞれ色の帯を結び、大きな掛け声とともに形や組の練習をします。ふだんの練習では拳法の形や技、組みの他に基礎運動としての柔軟体操や、子どもがアスレチック感覚でできる体操なども取り入れているそうです。



たくましい子どもたち

少林寺拳法は、よくカンフーなどと混同されがちですが、湘南葉山道院・道院長の開さんによれば、少林寺拳法は日

殿、裕次郎の碑から海岸におりると、目の前に広がる輝く海。白い裕次郎灯台、名島の赤い鳥居。遠くに山なみ、そして富士山。葉山から眺める富士山が一番美しく感じられます。名木100選の森戸飛柏榎や、千貫松を見てかながわ景勝50選に入る森戸の夕照を眺めてもよい。

細い道には昔からの歴史があり、山、森、川、海、の自然に恵まれた葉山を改めて堪能できます。

本の武道であり、創立は一九四七年。

「人、人、人、すべては人の質にある」という言葉があります。これは人は人格や言動によって物事の良し悪しは決まることを意味し、修練を通じて慈悲の心と正義感の強い人間を育て、社会に貢献させていくことが少林寺拳法の理念の一つのことです。また「自他共楽」という教えがあり、自己本位な考えを捨て、他人を思いやれる人間になることを大切にしているそうです。

葉山に道場が開かれて以来4年、楽しく年齢に関係なく仲間意識を大切に活動しています。横浜市民大会や県大会で入賞した拳士も多く、メダルと賞状を胸にした誇らしげな姿は愛らしくもあり頼もしく、これからの成長が楽しみです。

〈問合せ〉〇九〇一〇三五三二七三 開